

令和6年度 第3回上溝高等学校運営協議会 議事概要

令和7年3月7日（金） 15:00～16:30

場所：上溝高等学校 会議室

学校運営協議会委員 9名（敬称略）

会長	小泉 力也	上溝高等学校第29代校長
副会長	内田 勝久	上溝高等学校 校長
委員	横山 恵史	相模市立上溝中学校校長（欠席）
委員	宮崎 孝一	本校PTA会長
委員	小山 美代恵	同窓会（鳩友会）会長
委員	鈴木 崇之	上溝商店街振興組合理事長
委員	永野 堅次	上溝地区社会福祉協議会会长
委員	倉橋 強治	自治会法人本町自治会長（欠席）
委員	山口 信郎	神奈川県更生保護協会副理事長

学校職員

内田 勝久	校長
松岡 潤治	副校長
森 仁	教頭
中尾 一城	事務長
池田 岳史	学務グループ
森信 亮一	地域連携グループ
森下 和彦	生徒活動グループ
木村 信彦	支援相談グループ
丸茂 千秋	キャリアグループ
橋口 圭一郎	学校管理グループ
小林 多聞	地域連携グループ（記録）

○開会の言葉 資料確認

1 校長挨拶

- ・3/3 第77回卒業式を終えた。
- ・今週は学年末試験。来週は球技大会を実施予定
- ・令和7年度入学者選抜は倍率1.27倍 合格者は243名
- ・今年度は学校として、地域連携に力をかけた。各部や生徒ボランティアが意欲的に地域と関わった。
- ・本日は今年度のまとめをさせていただきたい。

2 学校評価部会

（1）令和6年度学校評価中間報告について

①学務グループ

- ・令和8年度からの教育課程編成に変更を加える予定。科目間で話し合いを重ね、調整している。
- ・生徒による授業アンケートを実施した。(資料4, 5)
- ・指定事業である「学習評価」において最終年度だった。来年度からの向こう3年間においても「学習評価」が本校の指定事業となる。

②生徒活動グループ

- ・部活動の活性化を促進した。(加入率4%上昇) (資料6)
- ・各部の活動を広く伝えるため、HPでの発信を増やしたり、生徒間で記入しあう応援掲示板を本館入口に設置したりした。
- ・生徒会役員の活動の活性化を目指した。ルールメイキングプロジェクト等 (資料7)

③支援相談グループ

- ・本校は自転車通学者が多い。今年度は交通安全指導の一環として、スケアードストレイトを実施した。
- ・かながわサポートドックをもとに、SC/SWへの接続を支援した。(資料9)

④学校管理グループ

- ・防災教育として、DIGを実施した。(資料10)

意見交換

- SC/SWの利用増加と、生徒への声掛け等について
- 単元における指導と評価の一体化の推進について
- 今後の教育課程編制の改定について
- テストの平均点等について
- 生徒による授業評価と特色ある授業の展開等を含む授業改善等について
- 部活動加入率の向上傾向と、HP等での各部の積極的な成果報告等の情報発信の取組等について
- 教職員が生徒と向き合う時間の創出等について

3 地域連携部会

○上溝高等学校グランドデザインをもとに、スクールミッションや学校教育目標において、地域連携が重視されていることを確認した。

(1) 総合的な探究の時間 (学務グループ)

- ・79期生1年生生徒が地域と連携して探究活動を行い、発表を行った。(資料11)

(2) 神奈川県弁護士会相模原支部による出前授業 (生徒活動グループ)

- ・弁護士会も学校と連携したい意向があったため、双方に有意義な機会となった。(資料13)

(3) 児童文化部の活動 (生徒活動グループ)

- ・活動内容を高く評価され、神奈川県高等学校文化連盟会長賞を表彰された。(資料14)

(4) 地域連携に関連した部活動・生徒会本部・有志生徒の活動について (生徒活動グループ)

- ・発表に文化にかかわる部活動が幅広く活動した。（資料 15）
- ・生徒会本部役員生徒中心となり、「神奈川ハイスクール議会」や「相模原支部弁護士会のパネルディスカッション」、「黒岩知事と県民との“対話の広場”」や「相模原市中央区「高校生の意見交換会」」等へ積極的に参加した。
- ・有志生徒による「上溝イルミネーション」と「上溝公民館祭り」のポスターの原画を作成して、たいへん好評をいただいた。

(5) ボランティア活動（地域連携グループ）

- ・駄菓子さんボランティア参加者が 24 名増（前年度比）（資料 16）

(6) 福祉委員会の活動（地域連携グループ）

今年度は各学年で異なる体験を企画し、実施した。（資料 17）

(7) 上溝小学校との交流（地域連携グループ）

- ・上溝小学校とスポーツや文化的活動を通して交流した。（資料 18）
- ・地域連携グループとしては、時代に即した情報発信手段として S N S の利用を検討中である。

(8) 交通安全教育活動（支援相談グループ）

- ・相模原地区交通安全デーを実施した。次年度以降も地域の協力を得て実施したい。（資料 19）
- ・プロのスタントマンによる、交通事故場面を疑似的に再現する学習である「スケアードストレイト」を実施した。目の前で再現される交通事故の様子に生徒も事故の恐ろしさを実感していた。（資料 20）

(9) 三菱重工ダイナボアーズによる職業講話（生徒活動グループ）

- ・2 学年対象 体育館で実施した。（資料 21）

(10) 卒業生講話（生徒活動グループ）

- ・一般企業「ほねごり」社長（本校卒業生）をお呼びする予定（資料 22）

意見交換

- 各種行事の実施に係る生徒・教職員の取組等について
- 地域連携を通じた社会規範や基本的生活習慣の向上等について
- 公民館、自治会連合会等、地域の様々な主体による、上溝高校生徒活躍の様子の共有や評価等について
- 学校の地域での取組と受検験者の増加等について
- 上溝商店街としての継続的な上溝高校生活躍の場の提供等について
- 地域と連携した地域探究（総合的な探究の時間）における、現状や課題に対する理解や取組の深化等についてについて
- 上溝高校卒業生起業家による職業講話の取組と、生徒の起業に関する理解や意欲の向上等について
- 地域での上溝高校生の積極的なボランティア活動の広がり等について
- 地域とともにある学校としてのスクールミッションを踏まえたグランドデザインの実践等について
- 上溝のまちの地域性の強さの特徴を重視し生かした地域連携と学校運営等について

4 キャリア部会

(1) 3 年生 進路状況（キャリアグループ）

- ・2月現在。確かな学びにつながるような学校研究をするよう指導し、学校としてはそのための情報提供を重視した。(資料23)
- (2) 今年度卒業生の講話を聞く会(キャリアグループ)
 - ・後輩の進路活動へ、卒業生の頑張りを共有し、世代間の引継ぎを目指す。(資料24)
- (3) 2025年度 学習教材・テストについて(キャリアグループ)
 - ベネッセ社からリクルート社へ変更する。(資料25)
- (4) 新入生 令和7年度入学者選抜状況(学務グループ)
 - 過去4年で出願者数及び倍率が最高を記録した。(資料26)

意見交換

- 生徒の進路設計に係る丁寧な指導・支援等について
- 総合型選抜の活用とそれに向けた取組等について
- 本当に行きたい進路先への探究活動等について

5 その他

- ・いじめ防止対策の更なる強化等について(管理職)
 - 地域と協働したいじめ防止対策が示されている(資料27)

○閉会の言葉

来年度については、6月中旬に第1回の開催を予定

以上